

35人学級の成果と課題についてのアンケート結果

教職員

実施時期 平成27年7月

対象 小・中学校教職員 68名

回収率 回答者 68名(100%)

回答率 設問によっては無回答の場合があるので、合計が100%にならないことがあります。

※経験等を踏まえてご回答ください。職務が項目と関係のない場合は、無回答としてください。

- 1 35人学級制度は学習指導や生活指導において、指導規律の定着が図れ、大変有効である。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
72.1% 22.1% 0% 0% 1.4%
- 2 35人学級では、全員参加型の学び合う授業（表現活動や体験的な活動等）が展開しやすく、活発な授業を通して、児童生徒の学習意欲が高まる。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
63.2% 29.4% 1.5% 0% 1.5%
- 3 35人学級では、児童生徒への言葉かけや児童生徒から話を聞く機会が増え、教師と児童生徒の相互理解が深まり、学習指導や生活指導がしやすくなる。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
72.1% 23.5% 0% 0% 0%
- 4 35人学級では、児童生徒の学習状況の把握が適切にでき、学力に応じた丁寧な指導ができ、学力の底上げや多様な学習（発展学習など）に取り組むことができる。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
67.6% 22.1% 2.9% 1.5% 0%
- 5 35人学級は、体育や音楽などの実技教科において、児童生徒一人あたりの取組時間が増えるので、体力の向上や技術の習得に有利である。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
61.2% 20.9% 1.5% 0% 3%
- 6 35人学級では、「教師と児童生徒」「児童生徒同士」の人間関係が深まり、生活指導上の様々な問題（いじめ等）の早期発見、早期解決や問題行動の減少につながっている。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
66.2% 23.6% 2.9% 0% 2.9%
- 7 35人学級では、「保護者・家庭」との相談、連絡、連携が密になり、丁寧な対応が可能となるので、「保護者・家庭」との相互理解が深まり協力も得やすい。
A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない
58.8% 26.5% 4.4% 0% 4.4%
- 8 学習指導や生徒指導において、学級の人数が少ない方が効果的な場合もあれば、人数が多い方が効果的である場合もあります。多くの友達と切磋琢磨する中で「生きる力」が育ち、学力や社会性が身に付くとの意見もあれば、全く逆の意見もあります。児童生徒が成長するためには、困難を乗り越えさせる必要があると考える人もいれば、児童・生徒は自然に成長するので、待つことが大切だと考える人もいます。学習指導や生徒指導などと35人学級制度との関連でご意見があればご記入ください。

◎「一人一人の生徒を大切にするという教育の大原則（目標）を達成しやすい」「最近の5年間を見ていると、生徒が大変落ち着いており、教育活動がスムーズに行われているので、今後共35人学級の継続をお願いしたい」など肯定的な意見が多数を占めた。